



### 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。42歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。

## 視察報告 宮城・福島県へ

### 仙台市議会

3月27日、横浜市議員団で仙台市議会へ。震災から6年を迎えた現在の、復興への課題やこれまでの歩みについて聴取。大震災では津波の被害が大きく注目されましたが、盛り土住宅地の被害も「陸の津波」と言われ、こちらの被害も深刻でした。横浜市内も同様な住宅地が多く、大きな問題をはらんでいます。仙台市の経験・取り組みから、横浜市の課題を探ります。



▲仙台市役所にて

## 横浜市会 平成29年 第2回定例会を開催中!



5月16日(火)～  
6月6日(火)まで

### 仙台南の杜水族館



▲同水族館の藤森館長と

市議会視察の後、藤森館長の案内で同水族館を視察。経営者である横浜八景島の布留川社長の、復興支援への熱い思いが結実し、2015年にオープン。年間180万人を超える入館者を迎えるなど、仙台市の賑わいに大きな貢献をしています。感動的で美しい、楽しい展示は、東北の皆さまの「心の復興」にも寄与しているに違いありません。

### 福島県環境創造センター「コミュタン福島」

3月28日、田村郡三春町にある同センターへ。放射線に関するモニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・啓発を行う総合拠点。放射能は目に見えないものだけに、誤った情報や風評が広まりやすく、福島県からの避難児童のいじめ問題などの原因にもなっています。これらを防ぐためには「放射能を正しく知って、正しく恐れる」ことが大切です。

横浜市においても、公明党の提案で今年度から、学校教員の研修プログラムの一部として、同センターを活用していくことが決まりました。



▲「放射線見える化ウォール」を体験

## 視察報告 静岡市へ



4月12日、学校の運動施設の市民解放をテーマに視察。静岡市では約90%の小中学校のグラウンドへ夜間用照明を設置、市民の皆さまによるスポーツ利用が活発です。横浜市での展開を視野に、運用や課題などについて聴取。実際の学校の照明も確認し、利用者の声を伺いました。



▲市立城北小学校の夜間用照明を視察

## 短信「区民の皆さまと共に」

### 宵の口サロンへ(3月25日)

湘南八景地域のコミュニティサロン「ほっこり」で開催されている同集いは、定年を迎え、自宅にこもりがちな男性の皆さまの交流の場として、数年前から開催。私も一年ぶりに伺いました。豆知識のミニ講座を挟み、梅酒を飲みながら語り、ギターに合わせて歌い、楽しい集いです。

### 横浜市立大学、金沢養護学校の入学式へ(4月5日)

地元の市議員として、午前中は横浜市立大学、午後からは県立金沢養護学校の入学式に出席させて頂きました。新入生の皆さま、金沢区へようこそ!有意義な学びの日々となりますように!また皆さまの学習・生活環境の更なる充実のために、尽力して参ります。



### 消防団・第一分団の総会へ(4月15日)

所属する金沢消防団第一分団の総会、懇親会へ。席上「団員応援カード」を頂きました。地元の商店会の皆さまより、消防団関係者に割引サービスなどの特典を提供頂けるというものです。地域で活躍する団員を増やそう、応援しようという、皆さまの真心が有り難いです。

## 市民相談会を開催



3月26日、六浦地域の個人宅をお借りして、16回目となる市民相談会を開催。冷たい雨の降る中、多くの皆さまにご出席頂き、貴重なご意見、ご要望を頂戴しました。さらに皆さまが暮らしやすい街へ、全力投球!



こちらは六浦4丁目の道路。経年劣化でガタガタになり「穴につまづいた。自転車の車輪が取られる。」とのお声が寄せられていました。しっかり補修して、ついでに、消えていた「止まれ」の表記も塗り直しました。

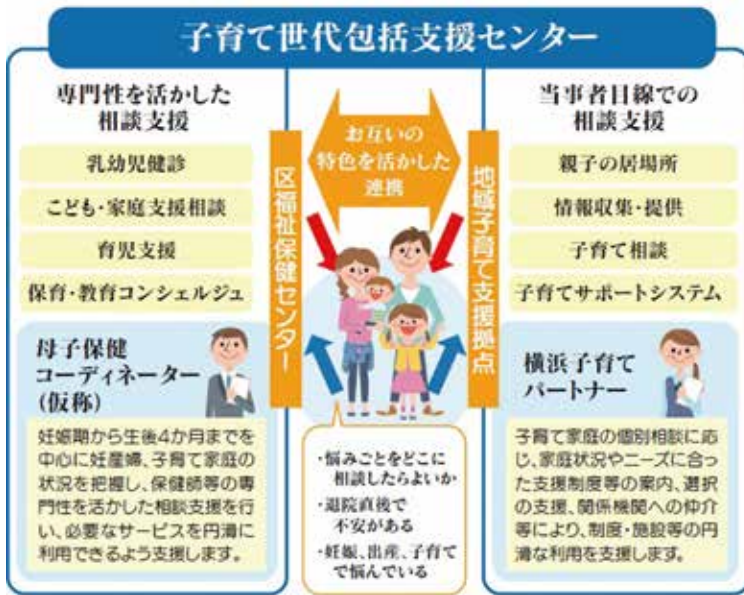


こちらは富岡総合公園・ケヤキ広場に通じる階段。広場の先に住宅地もあり、通勤通学でご利用の方も多のですが、夕方以降は真っ暗で「怖い。足元が見えずに危ない。」などのお声もあり、実際に痴漢の被害も報告されていました。そこで街灯を新設、見違えるほど明るくなりました!

公明党 横浜市会ニュース「VOICEよこはま」より

子育てを支える公明党の施策が実現!

「子育て世代包括支援センター」による、  
妊娠期から子育て期までの支援が充実!



日々子育てに奮闘する保護者の皆さまの中には、地域とのつながりが薄いことで、悩みを相談する相手に恵まれず、児童虐待など深刻な事態を引き起こすケースもあります。

公明党が強力に推進する安心して子育てできる環境整備へ、区福祉保健センターと地域子育て支援拠点が連携・協働し「子育て世代包括支援センター」として、妊娠期から子育て期までの支援を充実させます。保健師等の専門性を持つ母子保健コーディネーター(仮称)を市内3区にモデル配置し、母子健康手帳交付時に全妊婦と面接を行い、出産・子育て準備プランを策定し、個別の事情に沿って医療機関などと調整し、悩みに対する相談支援を切れ目なく行っていきます。また、産後うつ等の早期発見・支援に向けた取り組みも推進します。

モデル実施の検証を踏まえ、今後全区に母子保健コーディネーターの配置を進めていきます。

皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX: 045-345-4345

たけのうち猛  
オフィシャルサイト  
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は  
こちらから!



空メールを  
送信してください